

## 平成28年度香川大学入学式 学長告辞

ただいま香川大学への入学を許可された1,318名の新入生の皆さん、誠におめでとうございます。

これまで成長を見守り、この日を心待ちにされていましてご家族・関係者の方々にもお祝いを申し上げます。

本日、入学式に列席している理事、副学長、学部長及び教職員とともに、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

はつらつ 澆刺とした皆さんを迎え、本学も益々活気にあふれております。

さて、人工知能、ロボティクス、ITなどが急速に発展して、米国のある研究者は2011年に、今の小学生の65%は将来、まだ存在していない職業に就くだろうと予測し、また英国のある研究者は、将来米国の雇用の47%が人工知能にとって代わられるだろうと予測しています。

すなわち、近未来においては、職業形態が大きく変容し、それにより人々の生活スタイルやシステム、さらには価値観や社会規範までも変わりうる、予測不可能な世界が到来するということです。

私はこのような話を聞くと、昔見たチャップリンの“モダン・タイムス”という映画を思い出します。それは機械文明が発展して、人々の生活がベルトコンベアー式機械に支配される未来に警鐘を鳴らしたのですが、科学・テクノロジーの長足な進歩により、利便性がますます高まっていく反面、それらに依存し、やがては気付かぬうちにそれらに支配される世界へと進んで行っているように思えてなりません。

さて、皆さんは先に述べたような社会変革が予想されている時、これからの4年ないしは6年間、香川大学生としてどのように過ごそうと考えているのでしょうか。

各々が多くの夢や希望を抱いていることと思いますが、人生において最も多感で、人間的に成長す

るこの時期に、あらゆる学修の機会を捉えチャレンジして欲しいと思います。そして第一に、教職員・先輩・友人・地域・世界の方々との交流を深め、信頼度の高い、良い人間関係を作っていただきたい。このことは人生の様々な側面を約75年間追跡調査した“ハーバード成人発達研究”にも、幸せな人生を送るキーポイントとして発表されています。第二に、山のわき水、この葉の一滴から源流が生まれ、やがて集合して大河になるように、大学生ならではの自由な時間をフルに活用して、皆さんの中に内在している主体的・能動的・そして創造する心に火をつけてください。

これからの香川大学での学修は、予測困難な社会を生き抜くための知識・経験・知恵・感性等を身につけるためのものであり、それが大学で時間を過ごすということです。

ここ香川大学では、皆さんに4つのキャンパスのみならず、香川県を中心とした地域、そして国内外にも学修の場とあらゆる機会を提供し、それをいか

に効果的に学修していただけるか工夫しています。

例えば、平成25年度からスタートした「香川大学ネクストプログラム」では、現在3つのプログラム（グローバル人材育成、防災士養成、人間探求）があり、そのうちのグローバル人材育成プログラムでは、一定の条件をクリアすれば1年間の海外留学ができます。既に皆さんの先輩が米国、中国、台湾、ブルネイなどに渡って学修をしました。

また、今年は第3回瀬戸内国際芸術祭2016が3月20日より開催されています。世界中から観光客が訪れるこのイベントには、香川大学も積極的に協力し、参加しています。美しい瀬戸の島々に渡り、芸術を通して様々な人々と交流を深めるとともに、その開催地でもある、ここ香川県の香川大学で学修する恵まれた機会を生かし、多くの気付きと感動を経験してください。そして、今回も多くの学生及び教職員が様々なプロジェクトを企画しています。四国ならではの“おもてなしの心”で皆さんも是非参加してみてください。

学問は、よく登山に例えられます。学問には、決して平坦な道はありません。足場の悪い道を慎重に進み、長く険しい坂道をよじ登る、その労苦をいとわない者にのみ、その明るく開けた頂上に辿り着くチャンスがあるのです。是非皆さんには、その登山にチャレンジしていただきたいと思います。

本日から、皆さんは香川大学の構成員です。各々が自分の置かれた立場を忘れず、香川大学生として自覚をもって行動してください。

本日、香川大学に入学された皆さんが、この大学生活で多くのことに挑戦し、夢と希望と大きな自信を持って、将来、社会をリードし、活躍されることを心から期待し、告示といたします。

平成28年4月4日

香川大学長 長尾 省吾